

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	01	01	広報活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	01	広報活動事業

実施計画整理番号	
601010101	
総合戦略整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民へ市政運営方針や各施策の考え方・内容・効果などの行政情報を提供することで、市としての説明責任を果たし、市民と行政が互いの理解と信頼を深めることを目的とする。	広報もばらについては、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを心がけ、新鮮かつタイムリーな情報提供をするため、月2回発行する。迅速に伝達することを目的として、新聞折込で配布する。 また、市のさらなるPRのため、イベントや記者会見時に使用するインタビューボードを購入する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報アンケート結果を踏まえた紙面の見直し。</li> <li>・紙媒体以外の発信方法のさらなる検討。</li> </ul>	毎月1日・15日の2回、36,500部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	20,912	20,912	20,698	20,896	0	0	20,777	0	0	20,777	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	20,912	20,912	20,698	20,896	0	0	20,777	0	0	20,777	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	広報もばらの発行	20,777	20,777	20,563	毎月1日・15日の2回、36,500部を発行。今後も市民に必要な情報を掲載するとともに、市民ニーズを踏まえた情報の発信に努める。
②	インタビューボードの購入	135	135	135	移動用のインタビューボードを購入した。庁舎内外問わずイベントに活用する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		20,912	20,912	20,698	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<p>広報発行については、毎月1日・15日の2回、36,500部を発行。年間総ページ数336ページ。新聞折込については、32,845部(30年1月1日号)。新聞購読数により変動あり。</p>

DO (実施)

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601010101
6	01	01	01	広報活動事業	2	01	04	01	広報活動事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報発行回数: 24回</li> <li>・広報発行部数: 876,000部</li> <li>・年間総ページ数: 336ページ</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブページアクセス件数: 1,563,935件/年(130,328件/月)</li> <li>・マチイロ登録者数: 739人</li> </ul>				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。		A:有効である	インターネットが活用できない方も依然多く、広報紙などの紙媒体で行政情報を提供することは有効である。		A:効率的である	内容を更に充実させ、市政により興味を持ってもらうため、ページ数の拡大、カラー印刷を検討する必要がある		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	広報・ウェブサイトでの公表		A:実現している	団体・グループの会員募集・イベント案内記事の掲載。市民紹介など。		C:実現の余地がない			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	毎月1日・15日の2回、36,500部を発行。行政情報を迅速かつ的確に発信し、市民の利便性の向上を図るとともに行政運営の理解と市政参加への促進を図った。新聞未購読世帯に対しては、郵送および公共施設への設置、スマートフォンアプリによる配信などにより対応しているが、年々増加している。								
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	広報の年間総ページ数及び『マチイロ』登録者数ともに増加しており、情報提供の充実における取組として成果があったことが認められる。今後も『マチイロ』の登録者の増加を図るとともに、親しみやすい広報を提供するものとする。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報発行回数</li> <li>・広報発行部数</li> <li>・年間総ページ数</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブページアクセス件数</li> <li>・マチイロ登録者数</li> </ul>				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民により興味を持ってもらえるような紙面の作成。</li> <li>・紙媒体以外の発信方法の検討。</li> </ul>					毎月1日・15日の2回、36,000部を発行。発行日当日の朝刊に折り込む。					

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	01	01	01
ウェブサイト運営事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	04	03
ウェブサイト運営事業			

実施計画整理番号	
601010102	
総合戦略整理番号	32303

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市の情報を必要としている方に、ウェブサイトによる行政情報の提供を行うことで、市のPRを図り、多くの方に関心をもってもらう。	各所属にホームページ制作委員を設け、それぞれの所属における業務案内や情報発信を依頼することで、広報紙ではできないタイムリーな情報を発信する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	ウェブサイト制作研修会を開催し、情報発信力の向上に努める。	ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,052	2,052	2,052	2,052	0	0	2,052	0	0	2,052	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	1,440	1,440	1,660	1,440	0	0	1,440	0	0	1,440	0	0
	一般財源	千円	612	612	392	612	0	0	612	0	0	612	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ウェブサイトの運営管理	2,052	2,052	2,052	アクセス数1,563,935件/年(130,328件/月)
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		2,052	2,052	2,052	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
ウェブサイトによる行政情報の発信を行い、市民サービスの向上を図った。アクセス数1,563,935件/年(130,328件/月)

DO (実施)

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601010102
6	01	01	01	ウェブサイト運営事業	2	01	04	03	ウェブサイト運営事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	・ウェブサイト公開ページ数: 2661ページ ・更新頻度: 2046ページ/年(170ページ/月)					ウェブサイトアクセス数1,563,935件/年(130,328件/月)					
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A: 妥当である		行政情報を市民に迅速かつ的確に発信することは行政の責務である。	A: 有効である		最新の情報を迅速に提供することができた。	A: 効率的である		全面リニューアルしたばかりのため、当分の間はコストの増加・増大の要因はない。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A: 実現している		広報・ウェブサイトでの公表。	A: 実現している		お問い合わせフォームの設置。	C: 実現の余地がない				
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		ウェブサイトでの情報発信に加え、Facebookなどの情報発信手段を利用し発信力の強化に努めた。インターネット等情報端末を活用できない方もいるので、広報などできめ細かく情報提供を行う必要がある。								
	企画政策課での評価とその理由										
	A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		ウェブサイトアクセス数が減少(昨年度比△73,586件 △4.5%)しているものの、公開ページ数や更新頻度が増加しており、情報発信力の強化に効果があると認められる。引き続き、最新の情報の発信を迅速に努めるものとする。								
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											
ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定					
	・ウェブサイト公開ページ数 ・更新頻度					ウェブサイトアクセス数					
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール						
ウェブサイト制作研修会を開催し、情報発信力の向上に努める。					ウェブサイトにより、随時、最新の情報を迅速に提供していく。また、SNSなど新しい情報発信手段を利用し、発信力の強化に努める。						

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	01	広聴活動事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	04	02	広聴活動事業

実施計画整理番号	
601020101	
総合戦略整理番号	0

P L A N ( 計 画 )	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させることを目的とする。	「市長と話し合う会」、「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」の開催。「市長への手紙」の運用。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	・市長と話し合う会の開催方法を見直し、新規参加者の確保、会議の活性化を図る。	・「市長への手紙」:各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」:11月19日(日)、市役所市民室で開催 ・「市民ふれあいミーティング」:随時受付

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	94	94	62	94	0	0	94	0	0	94	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	94	94	62	94	0	0	94	0	0	94	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市長への手紙の運用	11	11	11	101件(うち電子メール49件)。今後も幅広く意見・提言を聴取していく。
②	各種広聴事業の開催	83	83	51	市長と話し合う会を1回開催。55人が参加、質問者数18人。29年度からテーマを設け、市側から施策等の説明を行うなど見直しを行った。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		94	94	62	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市長への手紙」:101件(うち電子メール49件)。回答数は52件。</li> <li>・「市長と話し合う会」:11月19日(日)市民室で開催。55人が参加、質問者数18人。29年度からテーマを設け、市側から施策等の説明を行うなど見直しを行った。</li> </ul>

D  
O  
(  
実  
施  
)

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	601020101
6	01	02	01	広聴活動事業	2	01	04	02	広聴活動事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	・「市長への手紙」: 用紙設置枚数300枚 ・「市長と話し合う会」: 開催回数1回 ・「市民ふれあいミーティング」: 開催回数0回					・「市長への手紙」: 意見・提言数101件、回答数52件 ・「市長と話し合う会」: 参加者数55人、質問者数18人 ・「市民ふれあいミーティング」: 開催せず				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A: 妥当である	市民から幅広く意見・提言を聴取し、市政に反映させる必要がある。			A: 有効である	さまざまな方法で市民からの意見・提言を聴取する機会を設けた。		A: 効率的である	将来的にもコストの増加・増大の要因はなく、継続することができる。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A: 実現している	広報・ウェブサイトでの公表			A: 実現している	市長への手紙の運用、市長と話し合う会、市民ふれあいミーティングの実施		C: 実現の余地がない		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	「市長への手紙」の運用、「市長と話し合う会」や「ふれあいミーティング」を開催するなどさまざまな方法で、市民から幅広く意見・提言を聴取する機会を設け、市政に反映することができた。29年度からテーマを設け、市側から施策等の説明を行うなど見直しを行った結果、質問者が増加し活発な意見交換が行われた。									
企画政策課での評価とその理由										
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	広く意見を聴く機会を設けており、一定の成果が認められるが、ふれあいミーティングが開催されていないので、今後は開催に向け周知の強化を図るものとする。さらに意見を聴取する機会や聴取する方法を検討し、広く意見を市政に反映させることに努めるものとする。									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

A C T (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・「市長への手紙」: 用紙設置枚数 ・「市長と話し合う会」: 開催回数 ・「市民ふれあいミーティング」: 開催回数					・「市長への手紙」: 意見・提言数、回答数 ・「市長と話し合う会」: 参加者数、質問者数 ・「市民ふれあいミーティング」: 開催回数				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール					
・昨年度に見直した市長と話し合う会の開催方法を検証し、新規参加者の確保、会議の活性化を図る。					・「市長への手紙」: 各公共施設に備え付けの用紙、市公式ウェブサイト、電子メールから随時受付。 ・「市長と話し合う会」: 11月18日(日)、市役所市民室で開催 ・「市民ふれあいミーティング」: 随時受付					

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	01	市民相談事業

実施計画整理番号	
601020201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
<p>多種・多様化する市民の相談等に迅速かつ適切に対処できるよう努め、関係部署・機関との連携により相談業務の充実を図る。</p>	<p>市民相談・無料法律相談・人権相談・行政相談・交通事故相談を実施する。</p>
平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
<p>・市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談していただく。</p>	<p>・平日執務時間内 市民相談・結婚相談                  ・毎月第2木・第4火曜日 無料法律相談                  ・毎月第2火・第4木曜日 人権・行政相談                  ・5～3月第4金曜日 交通事故相談                  ・9・12月 出合いの広場</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,160	1,160	1,144	1,160	0	0	1,160	0	0	1,160	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,160	1,160	1,144	1,160	0	0	1,160	0	0	1,160	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市民相談	7	7	6	市民相談員が市民の日常生活での悩みごとや心配ごとに対し聴き取りを行い、解決に向けた助言を行った。今後も継続する。
②	無料法律相談	781	781	780	弁護士相談により適切に対応できた。多様化する相談における専門的対応のニーズに応えるために今後も継続が必要。
③	人権相談	268	268	265	人権擁護委員が専門的見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。
④	行政相談	62	62	61	行政相談委員が専門的見地から解決に向けた方向性を見出している。住民に更なる周知を図り、今後も継続する。
⑤	交通事故相談	2	2	0	市民に専門的な相談を受ける機会が与えられた。市民に必要な相談のため、今後も県へ継続を要望する。
⑥	婚活イベントの開催	40	40	32	結婚を希望する方に出会いの機会を提供した。結婚支援策について、検討していく。
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,160	1,160	1,144	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・無料法律相談は、日常生活にわたる法律問題について弁護士が対応(月2回予約制)
- ・人権相談は、いじめや差別、いやがらせなどの人権に関する問題について人権擁護委員が対応(月2回)
- ・行政相談は、官公庁が行う業務の苦情、要望、問合せなどについて行政相談委員が対応(月2回)
- ・交通事故相談は、損害賠償の仕方や算定額などについて、県交通事故相談所の専門の相談員が対応(年2回)
- ・出合いの広場は、結婚を希望する男女の出会いのきっかけ作りを目的として開催(年2回)

PLAN (計画)

DO (実施)

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	01	02	02	市民相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	01	市民相談事業

整理番号
601020201

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	複雑・多様化する市民の相談に、各種相談で迅速かつ適切な助言を行うことができた。		H29相談受付件数 ・市民相談 737件 ・人権相談 3件 ・交通事故相談 30件 ・行政相談 2件 ・法律相談 159件 ・結婚相談 25件			
	妥当性の評価とその理由 <b>A:妥当である</b> 市が実施することで市民は安心して相談できる。		有効性の評価とその理由 <b>A:有効である</b> 適切な助言を行い、問題解決に繋げている。		効率性の評価とその理由 <b>A:効率的である</b> 各種相談業務は、専門的な相談員が配置されている。	
	「情報の共有」の状況とその理由 <b>A:実現している</b> 広報、ホームページ等で相談業務を紹介している。		「参加」の状況とその理由 <b>A:実現している</b> 市民ニーズを把握しながら実施している。		「協働」の状況とその理由 <b>C:実現の余地がない</b> 相談業務であり専門員を活用している。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点 <b>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</b> 多種多様化する市民の相談に専門の相談員や弁護士を活用し、細やかな的確な相談事業を実施しており、相談者からも高い評価を得ている。今後も、窓口業務の充実に努める。また、結婚相談事業は登録制の結婚相談は登録者が減少しているため、お見合いの成立が困難となっている。出会い事業として、婚活イベントに比重を置き、登録制度の見直しを図る。					
	企画政策課での評価とその理由 <b>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</b> 様々な相談にきめ細かく対応しており、相談者からも高い評価を得ていることから、十分な成果があったものと認められる。引き続き相談員のスキルの向上に努めるものとし、相談者が相談しやすい体制づくりを目指すものとする。					
	政策調整会議での評価とその理由 (Blank)					
	庁議における方針 (Blank)					

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 毎月第2木・第4火曜日 ・人権・行政相談 毎月第2火・第4木曜日 ・交通事故相談 5～3月第4金曜日 ・出会いの広場 9・12月		・市民が抱える様々な問題の解決に向け、各種相談業務を適切に機能させる。	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
・市民が持つ悩みや心配ごとなどを、各種相談に気軽に相談いただく。		・市民相談・結婚相談 平日執務時間内 ・無料法律相談 毎月第2木・第4火曜日 ・人権・行政相談 毎月第2火・第4木曜日 ・交通事故相談 5～3月第4金曜日 ・出会いの広場 9・12月		



平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	02	01	02
情報化推進事業(安全安心地図情報システム)			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	01	03
情報化推進事業			

実施計画整理番号	
602010201	
総合戦略整理番号	12202

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	担当課ごとに整備されている地図情報を一元管理することで庁内における有効利用を促進する。 市が保有する地図情報を住民に公開することで、平時及び災害時に安心安全に関する地図情報の共有を図る。	既存の地図情報システムを一元化し、紙で管理している地図情報の電子化に積極的に取り組む。 また、公開できる地図情報を増やし、双方向のやり取りが可能なシステムを導入する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
・各事務事業の運用開始	・統合型GIS(庁内用)の運用開始(4月) ・公開型GIS(わが街ガイド)の運用開始(4月～6月) ・双方向システムの運用開始(年内) ・オープンデータサイトの運用開始(年内)	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,987	3,987	3,985	3,987	0	0	3,987	0	0	3,987	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,987	3,987	3,985	3,987	0	0	3,987	0	0	3,987	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	システム保守・運用費	3,987	3,987	3,985	・双方向システム(H31.11に開始)運用以外は概ね達成している。引き続き、わが街ガイドのマップ追加、オープンデータを活用したワークショップ等を開催し市民に情報発信する。
	②		0	0	0	
	③		0	0	0	
	④		0	0	0	
	⑤		0	0	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0		
事業費計			3,987	3,987	3,985	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合型GIS(庁内用)の運用開始</li> <li>・公開型GIS(わが街ガイド)の運用開始</li> <li>・オープンデータサイトの運用開始</li> <li>・市民参加型ワークショップ(もばちやいる)に参加</li> </ul>

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	02	01	02	情報化推進事業(安全安心地図情報システム)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	01	03	情報化推進事業

整理番号
602010201

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
	・統合型GIS(庁内)、公開型GIS(わが街ガイド)、オープンデータサイトの運用開始		・公開型GIS(わが街ガイド)の閲覧者は、18,753名(H29)。主に、都市計画情報、道路情報、不審者情報が閲覧者が多い。オープンデータの公開数は横ばいのため、今後増加に努める。	
	妥当性の評価とその理由 <b>B:ほぼ妥当である</b> ・全庁的かつ横断的に利用でき、また市民が地図を介し情報を取得することが出来る。		有効性の評価とその理由 <b>B:やや有効である</b> ・全庁的かつ横断的、また市民が利用できる環境の創出により情報の利用及び発信に努めている。	
	効率性の評価とその理由 <b>B:やや効率的である</b> ・全庁的かつ横断的、また市民が利用できる環境の創出により情報の利用及び発信に努めている。		「情報の共有」の状況とその理由 <b>B:実現に向けて取り組んでいる</b> ・公開型GIS(わが街ガイド)を公開し、市民等に情報を提供している。 ・職員向けに操作研修会を開催し、利用促進に努めている。	
	「参加」の状況とその理由 <b>A:実現している</b> ・操作研修会を実施し、利用者を増やしている。 ・公開型GIS(わが街ガイド)の閲覧者数が増えている。		「協働」の状況とその理由 <b>B:実現に向けて取り組んでいる</b> ・市民参加型ワークショップ(もばちやいる)を開催し、自分の住む街への関心及び新たな価値を見出す場になった。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点 <b>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割)</b> ・業務で使用するレイヤー(地図)を作製するなど、十分操作できる人材が育っている。今後も研修会を開催し、人材育成に努める。 ・市民参加型ワークショップ(もばちやいる)を開催し、自分で地図を作製する楽しさと、地図から地域の魅力を見出すことに繋がった。 ・双方向システムを運用できていないが、現時点(H30.7)は都市建設部内でブロック塀調査で先行して使用している。			
	企画政策課での評価とその理由 <b>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割)</b> 公開型GISの運用開始等、一定の効果が認められるが、その他の双方向システム等の運用を早急に開始するものとし、利用者の増加に努めるものとする。			
	政策調整会議での評価とその理由 (Blank)			
	庁議における方針 (Blank)			

A C T (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・利活用部会の開催(9月から11月) ・わが街ガイドのPR ・市民参加型ワークショップへの参加(8月) ・双方向システムの運用(9月から12月)		・わが街ガイドの閲覧者数の増加 ・掲載地図の増加	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
・事業の遂行		・利活用部会の開催(9月から11月) ・わが街ガイドのPR ・市民参加型ワークショップへの参加(8月) ・双方向システムの運用(9月から12月)		

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	03	コミュニティ活動支援事業

実施計画整理番号	
603010101	
総合戦略整理番号	22201

事務事業の概要	
事業の目的(「だれ・何」を【どのような状態】にするか)  「魅力あるまち」「住んでいたいまち」を形成するために重要な役割を果たす自治会等の地域コミュニティにおいて、活動が活発に行われ、地域に住む市民が積極的に参加できるようにする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか)  コミュニティ活動の育成や地域コミュニティ施設の整備充実を図るための各種支援策を講じる。
平成29年度の具体的な目標  ・自治会長連合会学習会 3回 ・自治会長連合会視察研修 4回 ・自治会長連合会講演会 1回 ・集会所の整備件数 5件	平成29年度スケジュール  7月 長生郡市連合自治会連絡会負担金 7月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	15,313	17,813	17,355	15,171	0	0	15,711	0	0	15,540	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	2,500	2,500	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	15,313	15,313	14,855	15,171	0	0	15,711	0	0	15,540	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	コミュニティ団体の活動支援	14,532	14,532	14,302	補助金の交付等をはじめとするさまざまな支援に努め、活動の活性化を促すことができた。今後も継続する。
②	コミュニティ備品の整備	45	45	36	コミュニティ備品(テント、サウンドシステム用マイク)を修繕した。今後も継続し、保有備品の適正な維持管理に努める。
③	集会所の整備	736	736	517	補助金の交付により、5か所の集会所が修繕された。今後も継続し、自治会等の活動拠点の整備促進に努める。
④	コミュニティ助成	0	2,500	2,500	自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、1自治会において備品が整備された。今後も各自治会への周知を図る。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		15,313	17,813	17,355	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・団体への補助等(茂原市自治会長連合会への活動費補助金交付、長生郡市連合自治会連絡会への負担金)
- ・文書配布等の事務委託(自治会長委託料の交付)
- ・コミュニティ備品の整備(テント、サウンドシステム用マイクの修繕)
- ・集会所整備補助(5自治会の集会所修繕に対する補助金交付)

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	603010101
6	03	01	01	コミュニティ活動支援事業	2	01	13	03	コミュニティ活動支援事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	補助金の交付額 4,624,360円(うち自治会長連合会補助金1,578,360円、集会所整備補助金517,000円、コミュニティ助成事業補助金2,500,000円) 補助金の交付件数 7件(自治会長連合会補助金1件、集会所整備補助金5件、コミュニティ助成事業補助金1件)				・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会出席人数208名(うち委任状87名) ・コミュニティ備品の数、利用状況 15種類472点 ・延べ貸出団体数 848団体 ・集会所の整備件数 修繕5件			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	コミュニティ活動の充実については、市が関与すべき事業であり、妥当性はある。	A:有効である	コミュニティ活動の育成と拠点整備等の支援に努めることで、より良いまちづくりという成果が得られることが期待できる。	A:効率的である	事務事業の執行は効率的に実施しており、継続して支援していく必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	自治会長連合会役員や各単位自治会長と情報を共有しながら、施策を推進している。	A:実現している	自治会長連合会役員や各単位自治会長の参加を得ながら、施策を推進している。	A:実現している	自治会長連合会役員や各単位自治会長と目的を共有し、適切に役割を分担している。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	人々が地域で生活を営む上で、日常生活をより豊かで快適に安心して暮らしていくためには、コミュニティ活動の充実が欠かせないものであるから、自治会長連合会と連携しながら、各種支援等を行い、活性化を図った。今後も、コミュニティへの理解を深め、より多くの人々が積極的に参加できるよう、コミュニティ活動を支援していく必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	コミュニティ活動の支援活動等により、コミュニティの活性化が図られており、成果が認められる。引き続き各種支援事業によりコミュニティの活性化を図るものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	補助金の交付額 補助金の交付件数				・コミュニティ活動の促進(参加者数) 自治会長連合会定期総会出席人数 ・コミュニティ備品の数、利用状況 ・集会所の整備件数			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
・自治会長連合会学習会 3回 ・自治会長連合会視察研修 4回 ・自治会長連合会講演会 1回 ・集会所の整備件数 3件				7月 長生都市連合自治会連絡会負担金 7月 茂原市自治会長連合会活動費補助金交付 9月 自治会長委託料交付 随時 集会所整備補助金交付				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業

実施計画整理番号	
604010101	
総合戦略整理番号	0

P L A N ( 計 画 )	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	男女がお互いを尊重しつつ責任を分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分発揮することができる男女共同参画社会づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画をテーマとした講演会やフォーラム等を行い、市民意識の醸成を図る</li> <li>適正な事業執行のため、推進協議会による事業評価を実施する</li> <li>社会情勢に合った第4次計画とするため、推進協議会により策定協議を行う</li> </ul>
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> <li>ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会へ100名以上の参加を目指す。</li> <li>市と市民との協働により、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施する。</li> <li>男女共同参画に関する市の取り組みを市民に適宜情報提供し、理解を深める。</li> <li>各関係機関(県、商工会議所、市内企業・団体、市民)と連携し、各分野における男女共同参画推進に努める。</li> <li>あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第3次計画事業の推進に努める。</li> </ul>	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	128	128	128	128	0	0	128	0	0	550	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	128	128	128	128	0	0	128	0	0	550	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市ハートフルフェスタの開催	68	68	68	ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会及び男女共同参画に関して、自由に意見交換できる場としてコスモスサロンを開催し、意識啓発を図った。今後も継続して実施する。
②	男女共同参画計画の策定協議	60	60	60	男女共同参画計画(3次)の推進を図るため、事業について評価を実施し、提言書を市に提出した。今後も継続して実施する。
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		128	128	128	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 第9回茂原市ハートフルフェスタでは、誰にでも訪れる「老い」についてどう考えるか、美しく年齢を重ね、自分らしく生きてゆくことについて講演会を開催し、165名が参加した。
- 第10回茂原市ハートフルフェスタでは、家族・職場・地域等、様々な人間関係で活用できる、相手の気持ちかわかる聞き方・自分の気持ちが伝わる話し方について講演会を開催し、109名が参加した。
- コスモスサロン講演会として、日本国憲法の草案作成にただ一人の女性として関わったベアテ・シロタ・ゴードンさんが、女性の権利獲得のため人権条項を憲法に取り入れようと奔走した話を上映し、37名が参加した。
- 計画の推進については、推進協議会により14事業について外部評価を行い、事業評価報告書としてまとめ、市長に提出、また担当課に結果を報告した。

D  
O  
(  
実  
施  
)

# 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	604010101
6	04	01	01	男女共同参画社会づくり推進事業	2	01	09	03	男女共同参画社会づくり推進事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会実施回数 3回</li> <li>・情報提供の回数 3回</li> <li>・男女共同参画計画の推進、事業評価の実施 男女共同参画推進委員会(庁内)及び男女共同参画推進協議会(第三者)で事業評価を実施</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画について正しく理解する市民を増やす(講演会等参加延べ人数 311人)</li> <li>・計画事業評価Aの事業 現在評価中</li> </ul>			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	男女共同参画は若年層を中心に進んではいるが、社会全体としては不十分なところがあり、更なる推進に向けて市が率先して取り組む必要がある。	B:やや有効である	一定の理解は深まっているものの、取り組みが遅れている分野について、より幅広い周知が必要。	C:あまり効率的ではない	男女共同参画の推進には意識改革が必要であり、すぐに結果が出るものではなく、根気強く取り組むことが必要。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	市ホームページ、自治会回覧、広報誌等で情報提供している。	A:実現している	講演会に市民意見を反映できるように市民のボランティアが参加。計画の事業評価に協力する協議会の委員には、市民が参加している。	A:実現している	講演会実施にあたっては市民が企画・運営を担当。計画の事業評価にあたり、協議会の意見を取り入れ、より市民目線の評価及び提言に努めた。		
所管による評価とその理由、課題・問題点								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	公募の市民で構成されるハートフルフェスタ実行委員会の企画・運営による、男女共同参画の正しい理解と啓発のための「ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)」及び男女共同に関する意見交換の場としての「コスモスサロン」を開催し、市民と行政の協働による効果的な取り組みとなった。今後も引き続き、あらゆる分野における男女共同参画の正しい理解と意識啓発のため、市と市民及び関係団体が連携・協力して啓発・推進に努めていく。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	男女共同参画に関する講演会等の開催の増加により、意識の醸成が図られていると認められる。3次計画事業については、関係団体との連携を密にするとともに、引き続き事業の推進に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

A C T (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会実施回数 1回以上</li> <li>・情報提供の回数 年1回以上</li> <li>・男女共同参画計画の事業評価の実施</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画について、正しく理解する市民を増やす。</li> <li>・計画事業評価Aの事業を増やす。</li> </ul>			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会を企画・実施する。</li> <li>・男女共同参画に関する市の取り組みを市民に適宜情報提供し、理解を深める。</li> <li>・各関係機関(県、商工会議所、市内企業・団体、市民)と連携し、各分野における男女共同参画推進に努める。</li> <li>・あらゆる分野における男女共同参画を積極的に推進するため、計画事業評価及び第3次計画事業の推進に努める。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートフルフェスタ(男女共同参画大会)講演会へ、100名以上の参加を目指す。</li> <li>・市と市民との協働により、男女共同参画に関する正しい理解と啓発に努める。</li> </ul>				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	04	01	本納公民館・本納支所複合施設建設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	02	10	本納公民館・本納支所複合施設建設事業

実施計画整理番号	
605040101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	本納公民館と本納支所を複合施設として整備し、本納公民館を解体した後駐車場の整備を図る	本納公民館・本納支所複合施設本体工事 本納公民館解体、駐車場整備工事
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を円滑に執行するため、適切に事務を行なう。</li> <li>・H30.4の開館に向け、計画的に準備を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起債(4~5月)</li> <li>・工事検査(管財課)</li> <li>・移転及び開館準備(3月)</li> </ul>

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	714,319	714,485	709,213	148,607	0	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	611,300	610,900	606,500	41,800	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	103,019	103,585	102,713	106,807	0	0	0	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	本納公民館・本納支所複合施設建設工事	695,780	695,780	690,768	終了。
②	本納公民館・本納支所複合施設備品購入等	18,044	18,206	18,200	終了。
③	本納公民館・本納支所複合施設引越し	495	499	245	終了。
④	本納公民館解体・駐車場整備	0	0	0	30年度に旧公民館等の解体と駐車場整備を行う。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		714,319	714,485	709,213	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

本納公民館・本納支所複合施設(愛称「ほのおか館」)を建設した。敷地面積2,751.39㎡。鉄筋コンクリート2階建て。延床面積1,378.01㎡(公民館分1,183.12㎡/支所分194.89㎡)。①本納公民館・本納支所複合施設建設工事、②本納公民館・本納支所複合施設建設工事監理業務委託、③備品購入(机、椅子、移動書庫等)、④駐車場使用料(駐車場用地20台分)など

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605040101
6	05	04	01	本納公民館・本納支所複合施設建設事業	9	05	02	10	本納公民館・本納支所複合施設建設事業	

29年度活動指標(アウトプット)の達成状況	29年度成果指標(アウトカム)の達成状況
本納公民館・本納支所複合施設建設工事 658,800千円 本納公民館・支所複合施設建設工事監理業務委託料 31,968千円	複合施設が、平成30年2月末に完成、移転作業を行い、平成30年4月1日に開館した。

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	支所はプレハブでの活動を余儀なくされており、また公民館も老朽化が顕著であることから、新たな施設の建設は急務であり、妥当である。	A:有効である	安全・安心且つ利便性に優れた施設の提供により、市民の教育活動を一層推進することができるため、有効である。	A:効率的である	工事、備品購入は入札によっており、効率的である。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	工事契約は、契約にあたり議会の議決を得ている。	A:実現している	複合施設建設について市民要望の聞き取りを行っている。	C:実現の余地がない	工事には専門性が求められるため。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	複合施設が、平成30年2月末に完成、平成30年4月1日に開館した。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	計画通りに施設が完成したため、十分な成果が挙げたものと認められる。引き続き外構及び駐車場工事を進めるものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

30年度活動指標(アウトプット)の設定	30年度成果指標(アウトカム)の設定
事業費 149,653千円 (財源)一般財源19,053千円、市債130,600千円	旧本納公民館、旧本納支所を解体し、跡地を駐車場として整備する。

30年度における具体的な目標	30年度における事務事業スケジュール
旧本納公民館、旧本納支所の解体。外構・駐車場整備工事。	起債(4~5月)、工事検査(31年3月)

CHECK (評価)

ACT (改善)



平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	05	05	03
茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	09	06
茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略			

実施計画整理番号	
605050303	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	H27年に策定した茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の対象年度がH31年度までであり、H32年度において効果測定をする必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進委員報償費及び食糧費</li> <li>・PDCAサイクルを適正に実現するためのKPI(重要業績評価指標)を測定するために、調査・アンケート等を実施する。</li> </ul>
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指数)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指していく。	<p>H29.8月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略策定会議幹事会</li> <li>・総合戦略策定会議</li> <li>・総合戦略推進会議</li> <li>・議会での検証</li> </ul>	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	71	70	38	71	0	0	71	0	0	3,527	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	71	70	38	71	0	0	71	0	0	3,527	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市まち・ひと・しごと総合戦略等の効果検証	71	71	38	外部委員による効果検証を実施。今後も総合戦略に基づいた事業を進めていく。
②		0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		71	71	38	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

下記会議を開催し効果検証を行い、総合戦略の見直しを行った

- ・総合戦略策定会議幹事会での効果検証実施(H29.8)
- ・総合戦略策定会議での効果検証実施(H29.8)
- ・総合戦略推進会議での効果検証実施(H29.8)
- ・第3回定例会議員全員協議会での効果検証実施(H29.9)

DO (実施)

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050303
6	05	05	03	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	2	01	09	06	茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況					29年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定会議設置要領」及び「茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要領」に基づき、策定会議幹事会、策定会議、推進会議を開催した。また、H29年第3回定例会議員全員協議会に効果検証及び見直しを依頼し、出席した。					PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し、施策・事業の見直しを行った。				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	事業実施に伴う効果検証について、国へ報告する必要があるため、自治体を実施すべき事業である。		A:有効である	PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を実施し、施策・事業の見直しを行うため、有効である。		A:効率的である	推進委員の報償費及び食料費のため、将来的に大幅な費用の増減はない。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	会議の公表及び市のwebを通してインターネット上で評価結果を公表している。		A:実現している	総合戦略推進会議の中で市民の意見等を聴取している。		A:実現している	外部有識者で構成する検証組織は、産業・行政・教育・金融・労働・市民で構成している。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各事業に対する効果検証を行い、その評価に基づいて必要な見直し等を行っている。									
企画政策課での評価とその理由										
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	PDCAサイクルに基づき、事業評価の効果検証を実施し、見直しを行っているため当初の目標を達成していると認められる。今後も事業の必要性等を勘案し、目標の達成を目指すものとする。									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定					30年度成果指標(アウトカム)の設定				
	策定会議幹事会、策定会議、推進会議の開催及び議会での検証。					PDCAサイクルに基づいて各事業の効果検証を施し、施策・事業の見直しを行う。				
30年度における具体的な目標					30年度における事務事業スケジュール					
H30.8月 ・総合戦略策定会議幹事会 ・総合戦略策定会議 ・総合戦略推進会議 ・第3回定例会議員全員協議会での検証					各事業で設定した数値目標及びKPI(重要業績評価指標)についてPDCAサイクルに基づいて効果を検証した上で、必要に応じた見直しや新たな施策や事業の必要性など、より実効性を高め、目標の達成を目指す。					

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	04	協働のまちづくり推進事業

実施計画整理番号	
605050304	
総合戦略整理番号	41101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
市民や市民活動団体が地域の課題を主体的に解決しようとする機運の醸成を図る。	市内でまちづくりを行う団体を市民活動団体として認定し、支援を行う。また、地域まちづくり協議会に対して支援を行うとともに、市民活動団体の自発的な課題解決を促進するため、協働事業提案制度を運用する。
平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
・市民活動団体の認定数 延べ10団体 ・地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体 ・協働提案事業の実施回数 2回 ・市民活動支援センターのあり方についての提言とりまとめ	7月 市民活動支援センターのあり方検討委員会委員の公募 8月 市民活動支援センターのあり方検討委員会(～3月) 8月 協働提案事業の募集 9月 協働提案事業の審査・採択 通年 市民活動団体・地域まちづくり協議会の支援

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,055	1,055	945	988	0	0	858	0	0	988	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,055	1,055	945	988	0	0	858	0	0	988	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	協働事業提案サポート講座の開催	0	0	0	隔年で開催するため、平成29年度は未実施。平成30年度に実施し、今後も継続する。
②	協働提案事業審査会の運営	58	58	50	協働のまちづくり推進懇話会を設置し、会議を1回開催した。今後も継続する。
③	協働事業提案制度(団体提案型・行政提案型)の運営	200	200	200	2団体から提案を受け付け、2事業を採択して実施した。今後も継続する。
④	市民活動支援制度の運営	300	300	300	4団体に対して市民活動団体補助金を交付した。今後も継続する。
⑤	地域まちづくり協議会の設立・運営支援	497	497	395	2地区の地域まちづくり協議会に補助金を交付するとともに、地域まちづくり協議会設立支援講座を開催した。今後も継続する。
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		1,055	1,055	945	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・市民活動団体の認定 16団体(平成29年度末現在)
- ・市民活動団体交流会 3回
- ・地域まちづくり協議会の認定 2団体(平成29年度末現在)
- ・地域まちづくり協議会設立支援講座(連続講座) 3回
- ・協働提案事業 2事業を採択

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050304
6	05	05	03	協働のまちづくり推進事業	2	01	13	04	協働のまちづくり推進事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体交流会の開催回数 3回</li> <li>・市民活動支援センターのあり方検討委員会の開催回数 10回</li> <li>・地域まちづくり協議会設立支援講座の開催回数 3回</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体の認定数 16団体</li> <li>・地域まちづくり協議会の認定数 2団体</li> <li>・協働提案事業の実施回数 2事業</li> </ul>			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	まちづくり条例に基づく協働のまちづくりの推進は、市が関与すべき事業である。	A:有効である	より良いまちづくりのためには、協働のまちづくりの推進が必要である。	A:効率的である	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めた。継続していく必要がある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と情報を共有しながら、施策を推進している。	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の参加を得ながら、施策を推進している。	A:実現している	市民活動団体及び地域まちづくり協議会と目的を共有し、適切に役割を分担している。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めた。						
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民団体の認定数及び協働提案事業の実施回数は当初の目標を達成したと認められる。引き続き、市民活動団体及び地域まちづくり協議会の認定及び支援、協働提案事業の適切な執行に努めるものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体交流会の開催回数</li> <li>・地域まちづくり協議会設立支援講座の開催回数</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体の認定数</li> <li>・地域まちづくり協議会の認定数</li> <li>・協働提案事業の実施回数</li> </ul>			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動団体の認定数 延べ20団体</li> <li>・地域まちづくり協議会の認定数 延べ3団体</li> <li>・協働提案事業の実施回数 2回</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>4月 市民活動団体補助金交付団体の募集</li> <li>7月 協働提案事業サポート講座の開催</li> <li>7月 協働提案事業の募集</li> <li>8月 協働提案事業の審査・採択</li> <li>3月 協働のまちづくり推進懇話会の開催</li> </ul>				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
6	01	03	02	マスコットキャラクターPR事業

実施計画整理番号	
605050401	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	マスコットキャラクター「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターグッズの販売により子どもたちへの浸透を図る。</li> <li>本市の認知向上のためイベントに参加する。</li> <li>着ぐるみの利用促進。</li> </ul>
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	モバリんデザインを新たに考案し、新モバリんグッズに使用し、売上向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新モバリんTシャツ考案・販売</li> <li>新モバリんデザイン考案</li> <li>新モバリんグッズ作製・販売</li> </ul>

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	939	939	935	939	0	0	939	0	0	939	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	689	689	550	689	0	0	0	0	0	689	0	0
	一般財源	千円	250	250	385	250	0	0	939	0	0	250	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	マスコットキャラクターのプロモーション	76	76	76	新たなモバリんデザインを作製し、幅広く活用した。今後も継続していく。
②	イベント等への参加によるPR活動	147	130	130	ちはキャラ運動会(千葉テレビ)、商業施設及び市内イベントに登場させPRを実施した。今後も継続していく。
③	市民・企業活動の場での着ぐるみの利用促進	24	4	39	福祉団体や市民に貸出しを実施している。今後も利用促進に努める。
④	キャラクターグッズの製作・販売	692	692	690	トートバッグ等を作製し、市役所をはじめ市内店舗やイベント会場において販売を実施した。
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		939	939	935	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉テレビ出演3本、商業施設及び市内イベント等に登場させ、モバリんのPRを実施した。</li> <li>桜まつり、七夕まつり、産業まつり、幕張メッセ観光PRイベント、ZOZOマリンスタジアム観光PRイベントにおいてモバリんグッズを販売した。</li> <li>市職員で構成される「モバリん会議」において、新モバリんデザイン、新モバリんグッズを考案、販売した。</li> </ul>

DO (実施)

## 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050401
6	05	05	04	マスコットキャラクターPR事業	6	01	03	02	マスコットキャラクターPR事業	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	PR活動については、市内運動会4件、ちばキャラ運動会等、千葉テレビ出演3本、市内観光PRイベント4件、商業施設観光PRイベント2件、海ほたるパーキングエリア観光PRイベント2件に登場した。				グッズ売り上げ数は、ストラップ131個、キーホルダー75個、ネックホルダー75個、スライドミラー110個、フェイスタオル1枚、ハンドタオル86枚、ミニタオル686枚、プラコップ681個、クリアファイル331枚、ピンバッジ339個、CD3枚で、売り上げ金額は、合計550,724円であった。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	多くの自治体においてPRのツールの一つとして、キャラクターを設定している。	B:やや有効である	市の魅力を発信するうえで重要ではあるが、多くの自治体を実施しているため有効性が薄くなる。	B:やや効率的である		市内における知名度は高まりつつあるが、今後の展開が重要である。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	市WEBサイト公表、観光ガイドブック掲載等により情報発信を実施。	B:実現に向けて取り組んでいる	市職員で構成する団体やモバリんグッズ取扱店からの意見を取り入れている。	B:実現に向けて取り組んでいる		問題解決に向けて、市職員で構成する団体やモバリんグッズ取扱店と協議している。	
所管による評価とその理由、課題・問題点								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	着ぐるみの貸し出し頻度が高く、維持管理が困難な状況である。また、キャラクターグッズについては、多くの自治体が同様の商品を販売している為、他自治体にはない商品の開発に努めなければならない。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種イベント等へ「モバリん」を活用し、本市のPR活動を実施することで、地域住民の郷土愛の醸成と域外での知名度を向上させ、地域振興を図っていることから、成果が認められる。引き続き、本市の認知向上のため、PR活動を実施するものとする。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内でのPR活動回数</li> <li>・各種イベント参加回数</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>グッズ売り上げ販売数</li> </ul>			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員で構成する団体の会議を定期的開催する。</li> <li>・新モバリんデザイン考案</li> <li>・新モバリんグッズ作製・販売</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>「モバリん会議」で考案した新デザインを、新モバリんグッズ等に活用し、売上向上及びモバリんのPRに努める。</li> </ul>				

平成29年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	05	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費

実施計画整理番号	
605050402	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	本市ふるさと納税制度の推進、及び記念品の提供を通じた本市産品等の県内外への魅力発信並びに地域産業の振興を図る。	記念品の開発・発送にかかる業務を専門業者に委託し、記念品の充実及びインターネット等により情報発信を促進する。 また、寄附者の利便性向上のため、「ふるさとチョイス」からの寄附申込受付及びクレジットカード決済利用を継続する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
	・記念品を拡充する(3種類) ・「ふるさとチョイス」の利用により本市ふるさと納税の周知、寄附者の利便性の向上を図る	年間を通して、 ・「ふるさとチョイス」への掲載、寄附の受付 ・記念品の拡充

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	22,522	22,522	13,150	22,565	0	0	22,604	0	0	22,604	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	689	0	0	0	0
	一般財源	千円	22,522	22,522	13,150	22,565	0	0	21,915	0	0	22,604	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	寄附者に対する記念品の贈呈	21,968	21,968	12,764	H29年度寄付件数:945件 H29年度寄付金額:33,769,500円
②	インターネットポータルサイト及びクレジット決済による寄附手順の簡素化	554	554	386	「ふるさとチョイス」を利用した件数:897件 クレジットカード決済を利用した件数:844件
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		22,522	22,522	13,150	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・平成29年12月15日より年末のネットワーク障害対策及び決済システム増強のため、ちばぎんJCBカード及びちばぎんDCカードのクレジットカード決済を従来のYahoo! 公金システムに加えて導入した。
- ・記念品の開発及び拡充に努め、6事業者、22品目を新たに追加した。

DO (実施)

# 平成29年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	605050402
6	05	05	04	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費	2	01	09	05	ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費	

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況				29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・新たに22種類の記念品を追加した。 (H28年度 62種類→ H29年度 84種類)				・H29年度寄付件数(記念品対象分):945件・・・① ・①の内「ふるさとチョイス」を利用した件数:897件・・・② ・②の内クレジットカード決済を利用した件数:844件 平成29年度寄付金額(記念品対象分):33,769,500円			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	寄付者の利便性を向上させるとともに、広く周知を図ること、さらには歳入の確保等、市の事業として妥当である。	A:有効である	記念品の贈呈はふるさと納税の推進、また地場産業の振興等の副次的効果もあり、有効である。	B:やや効率的である	一部の記念品については、外部委託をしているが、その他多数の記念品については自前でやっているため、全部委託を検討する余地はある。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ホームページ等においてふるさと納税制度について周知している。	A:実現している	寄付金の使途を選択できることにより、寄付者に参加の機会を提供している。	A:実現している	記念品を市内業者から調達している。また、提供事業者もCSRや市の発展への寄与の意識を持って臨む事業者も多い。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	寄付件数、寄付金額とも昨年度より大幅に増加している(寄付件数:昨年度比+473人、寄付金額:+19,090,533円)ことにより、ふるさと納税の推進が図られた。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	記念品の拡充により、大幅な寄付件数及び寄付金額の増加に寄与したと思われる。今後も、記念品の拡充等、寄付者の利便性を考慮し、更なる効果を期待する。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

A C T (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定				30年度成果指標(アウトカム)の設定			
	・新規記念品の発掘 5品目				・平成30年度の寄付件数(記念品対象分):1,400件 ・平成30年度の寄付金額(記念品対象分):59,000,000円			
30年度における具体的な目標				30年度における事務事業スケジュール				
年間を通じて、 ・「ふるさとチョイス」への掲載、寄付の受付 ・記念品の拡充及び寄付金の増加				・記念品を拡充する(3種類) ・事業者説明会の開催 ・「ふるさとチョイス」の利用により、本市ふるさと納税の周知や寄付者の利便性の向上を図るため、寄付方法の多様化等を検討する。				



平成29年度 事務事業整理シート

基本計画			
章	節	項	細
実施計画事業名			
6	05	05	04
シティプロモーション事業			

予算科目			
款	項	目	事
事業名			
2	01	09	06
茂原市総合戦略推進事業			

実施計画整理番号	
605050403	
総合戦略整理番号	32301

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	人口減少や高齢化が急速に進み、ひとや地域のつながりが希薄化し、市の活力が大きく損なわれることが懸念される。そこで、選ばれるまちとしての魅力を戦略的にアピールをし、市の認知度を高め、交流人口・定住人口の増加を図る。	シティプロモーションの基本方針について市民等と検討し、地域の持つ資源を再認識し、統一感や一体感のあるイメージや魅力を明確にした共感できるコンセプトによる情報発信力を強化する。 また、市長が「茂原市の顔」としてトップセールスを担い、あらゆる機会を捉えてシティプロモーションを実行する。
	平成29年度の具体的な目標	平成29年度スケジュール
市の持つ魅力や潜在力のある地域資源を発掘し、茂原市のブランドイメージの統一化を図り、市民の関心、愛着、シビックプライドの醸成を図り、交流人口の拡大、定住人口の増加、地域経済の活性化に向けた基本方針を策定する。 シティプロモーション用オリジナル名刺(市長用)の作成	茂原市シティプロモーション支援業務委託契約の締結 ・茂原市のイメージ調査及び分析 ・市民ワークショップ及び体験ツアーの開催 ・シティプロモーション用パンフレットの作成 ・基本方針の策定 シティプロモーション用名刺の作成	

区分	単位	H29年度			H30年度			H31年度			H32年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	5,498	5,490	5,476	3,085	0	0	1,085	0	0	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,498	5,490	5,476	3,085	0	0	1,085	0	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	プロモーション取組方針の検討	5,498	5,490	5,476	茂原市シティプロモーション基本方針を策定。今後は基本方針に基づきシティプロモーションを進める。
②	取組方針に基づくシティプロモーション事業の実施	0	0	0	
③		0	0	0	
④		0	0	0	
⑤		0	0	0	
⑥		0	0	0	
⑦		0	0	0	
⑧		0	0	0	
⑨		0	0	0	
⑩		0	0	0	
事業費計		5,498	5,490	5,476	

平成29年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

茂原市シティプロモーション支援業務委託事業者をプロポーザルにて選定し契約締結。  
 ・茂原市のイメージ調査及び分析(インターネット調査1,034人)・市民団体ヒアリング(5団体)・市民ワークショップ及び体験ツアーの開催(16名参加)  
 ・シティプロモーション用パンフレットの作成(3,000部)及び地域情報誌(サンケイリビング新聞)への記事掲載(334,401部)  
 ・東海大学河井孝仁教授講演会の開催(H30.3開催50名参加)  
 ・茂原市シティプロモーション基本方針及びブランドメッセージの策定  
 シティプロモーション用オリジナル名刺(市長用)の作成 1,500枚

DO (実施)

平成29年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
6	05	05	04	シティプロモーション事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	06	茂原市総合戦略推進事業

整理番号
605050403

CHECK (評価)	29年度活動指標(アウトプット)の達成状況		29年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	茂原市シティプロモーション基本方針及びブランドメッセージの策定 市内外におけるプロモーション活動		市民ワークショップ及び体験ツアーの開催(16名参加)により地域に対する評価が高まったことが確認できた。また、プロモーション用のパンフレットの作成(3,000部)及びさいたま、むさしの地域への地域情報誌への記事掲載を行った。(334,401部)地域情報誌のアンケート(1147件回答)による茂原市の認知度57.4%、来訪希望84.1%が把握できた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 総合戦略における事業であり、地域の活性化のためには、まちの魅力を活かし、発信するシティプロモーション事業を進める必要がある。		A:有効である ブランドを確立し、地域内情報の流通を促進し、市民の参画や推奨、域内消費の喚起による賑わい創出・誇りの醸成を目指すため。		A:効率的である 基本方針の各施策の成果指標を総合戦略のKPIと関連づけて設定しているため、効率的に事業が進められるため。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 市民参加によるワークショップの開催や河井教授による講演会及びWEBや広報による公表。		A:実現している 市民参加によるワークショップや体験ツアー、団体ヒアリングなどにより、多くの意見を参考にした。		A:実現している 市民参加によるワークショップや体験ツアー、団体ヒアリングにより、地域の魅力の発掘、発信を行った。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		市民とともに地域の魅力発掘を行い、基本方針を策定し、市民の意見によるパンフレットの作成及び地域情報誌への記事掲載により、シティプロモーションの推進が図られた。今後は基本方針に基づき、更なる施策の取り組みを進める必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		当初の目的であるシティプロモーション基本方針及びブランドメッセージを策定したことにより、目的は達成されたと認められる。今後も茂原市シティプロモーション基本方針に基づき、本市を広くPRするものとする。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	30年度活動指標(アウトプット)の設定		30年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域情報の流通促進、コミュニケーションの増加による魅力の向上や活性化を図るためのセミナーの開催及び参加人数</li> <li>本市の魅力をPRする動画の作成及び公開</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信をした人数</li> <li>動画の閲覧回数</li> </ul>	
30年度における具体的な目標		30年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民自らが地域の魅力を発見し、発信することにより、地域情報の流通促進、コミュニケーションの増加による魅力の向上や活性化を図る。</li> <li>茂原市シティプロモーション基本方針に基いた本市の魅力を分かりやすくPRする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを活用した情報発信のためのセミナーを開催する。</li> <li>本市への移住・定住につなげるため、基本方針に基づくターゲットに関心を持ってもらえ、本市の魅力を分かりやすくPRする動画を制作する。</li> </ul>		